

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		デイホームえんとより一層連携する。	グループホームとデイホームのケアのさらなる共有を目指す。	現在、グループホームのスタッフがデイホームの勤務に着く日が多くあるが、デイホームのスタッフもグループホームの勤務をする日を設ける。 そして別の視点からとらえたケアを共有して、より良い運営をする。	6ヶ月
2		地域と連携し基盤を強化する。	地域に見守られ、地域に必要とされるグループホームになる。	近隣の店、町内会、消防署などに「えん通信」「グループホーム通信」や行事を通して、グループホームえんをもっと知ってもらう。 そして、万が一の入居者さんの離設時などの際に協力をお願いできる態勢づくりをすすめる。 運営推進会議を活用し、委員の方以外(近隣のお店の店員の方など)も参加できる機会を作る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。